

彙報

グッドリッチ教授の訃

榎 一 雄

(一)

米國支那学界の耆宿グッドリッチ (Luther Carrington Goodrich, Sept. 21, 1894—Aug. 10, 1986) 教授 (Dean Lung Professor Emeritus of Chinese at Columbia University) が急逝せられた。享年九一。

コロンビア大学の支那学科に教鞭をとること三十五年。その学位請求論文「乾隆朝の文字の獄」(著述目録第七番)、「カーター (Thomas Francis Carter) の著書を補訂した」(支那印刷術の起源並びに西伝考) (著述目録第四七番)、「スタニスラス・ジュリアン賞を与えられた「明代名人伝」(著述目録第七五番) を始めとする多くの論著の著者或いは編著者として支那学の発展に貢献し、さらにコロムビア大学で千人を逾える学生を教え、百人の学位論文作成を指導し、

日本の国際キリスト教大学 (一九六一—六二) を含む世界各地の大学に出講して、支那史に関する知識を拡めた。その功績を思い、謹んで哀悼の意を表する。

本年 (一九八七) 九月二日附の未亡人からの手紙でその逝去を知った。やや遅きに失した嫌はあるが、ここに教授の行実を回顧し、その学界に対する貢献を偲びたい。文末の著述目録は筆者が東洋文庫研究員鈴木立子氏の協力を得て作成したもので、遺漏のあることを恐れるが、その他の部分の記述は、「乾隆朝の文字の獄」と「支那と支那以外のアジアの諸地域との最古の交渉」(著述目録第五三番) とに掲げられている略歴のほか、ハーヴァード・イェンチン研究所図書館の呉 (Eugene Wu) 館長から提供せられた葬儀当日配布の資料並びに教授の居住して居られた地方の新聞 (The Riverdale Press, Thursday, August 14, 1986) の追悼記事によった。特に記して基づく所を明らかにして、呉館長の厚意を謝する。

(二)

グッドリッチ氏は、一八九四年九月二日、北京に近い通州に、チヨン・シー・グッドリッチ夫妻 Dr. and Mrs. Chauncey Goodrich) の長男として生まれた。両親は外国伝導米國委員会 (American Board of Commissioners for

Foreign Mission) に属した組合教会 (Congregational) の宣教師であった。

一九〇〇年、義和団の直隸省(河北省)進入が始まると、六月二〇日、氏は、両親並びに二人の妹とともに、北京の孝順胡同のメソヂイスト教会の建物 (Compound of the Methodist Mission) に移り、そこに十日を過してから、長い行列を作つて北京市の城壁にそつて交民巷の英国公使館に避難した。そこに一か月滞在し、次にそのすぐ近くの米国公使館に移つてさらに一か月を過しているうち、八月一日に天津から救援の連合国軍が到着し、公使館区域は義和団の包囲から解放された。この時、英国公使館にはモリソン (George Ernest Morrison, 1861—1920) 、クロード＝マクドナルド (Sir Claude MacDonald) を始め、多くの知名の人々が避難してゐた。

氏は一九六一年第二三回「モリソン記念民族学講演会」 (George Ernest Morrison Lecture in Ethnology) に招かれて前漢末 (A.D. 8) 以前の支那と諸外国との交渉史 (著述目録第五三番) を講義するにあたり、冒頭にモリソンとの關係を紹介し、五歳の時、モリソンを知つてから、一九二〇年五月モリソンの死去に至るまでに時折モリソンに会い、そのタイムズへの通信記事を読んで常に敬服してゐたことを述べると同時に、米国宣教師スミス (Dr. Arthur

Henderson Smith) と当時米国公使館一等書記官夫人に招待せられて何か月かを北京に過してゐたスミス (Polly Condit Smith) 女史との北京籠城中のモリソンの奮闘ぶりを伝えた記事を紹介している。幼い氏が巨大な北京の城壁の傍を両親等とともに英国公使館にのがれて行く姿や、恐らく名前は後年知つたのであろうが、モリソンやマクドナルド等のおとなの顔を眺めている有様を想像すると、何とも可憐である。

義和団事變の後、氏は母君と二人の妹とともに一時米國に帰り、父君は支那に留つて聖書 (Scriptures) の英訳を継続した。その英訳の一部が氏の葬儀の際に読まれたといふ。

山東省の芝罘学校 (Chefoo School in Shantung Province) 、更にオハイオ州のオバリン学院 (Oberlin Academy in Ohio) で初等中等教育を終え、続いてマサチューセツト州のウィリアムズ大学 (Williams College) に進んで B.A. (英語) の学位をとつた。時に一九一七年。カレッツの課程を終了した氏は、三たび支那に渡り、英語を教えること一か年。暫く米國の軍役に服し (一九一八)、一九一八年 YMCA の援助でフランスに赴き、戦後の復興事業に従事してゐた支那人労働者の監督 (通訳が主たる業務であつたであらう) に當つた。

一九二〇—二五年、ロックフェラー財団 (の援助による)

支那医療団の在地助監督 (Assistant Resident Director of the China Medical Board of the Rockefeller Foundation) を勤め、この間の未亡人 (Anne Swann) を知り、これと結婚した (一九二三年二月二日)。

一九二五年、ニューヨークに帰り、一九二七年、コロンビア大学で M.A. の称号をとり、講師として授業に当り、二八年、ニューヨーク州のリヴァーデイル (Riverdale) に自宅を建て、終生ここに居住した。

一九三〇年から三二年まで北京に留学し、その学位請求論文「乾隆朝の文字の獄」のための史料を蒐集し、かねて関係の学者からこの問題に関する情報の提供を受けた。さらにコロンビア大学に帰って折から客員教授として来講中のライデン大学教授ドイフェンダック (J. J. L. Duyvendak) 氏の指導を受け、一九四五年、文学博士 (Ph. D.) の学位を授けられた。ドイフェンダック教授の指導が如何に熱心で、懇切を極めたものであったか、北京で支那の学者から受けた協力が如何に手厚いものであったかは、この論文の序文に詳記されている。

一九二七年コロンビア大学講師に任じ、やがて助教を経て、教授 (Dean Lung Professor of Chinese) に昇り、同大学の東アジア言語文化科 (Department of East Asian Languages and Cultures, 始り Department of Chinese と

言ふ) 後に The Department of Chinese and Japanese と呼び、更に今の名に改められた) を主宰し、一九六一年、六七歳で退職、名譽教授の称号を受け、学科の建物の中に研究室を与えられてその終焉の時に及んだ。

その間、北京の支那学院 (College of Chinese Studies) 講師 (一九三七、一九四六)、ハワイ大学 (University of Hawaii) 講師 (一九五三、一九五四)、オーストラリア国立大学東洋学科客員フルブライト教授 (Visiting Fulbright Professor in Oriental Studies at the Australian National University) (一九六一)、日本の国際キリスト教大学客員教授 (一九六一—六二) として、学外の学生を教えている。

(三)

氏の業績の第一に挙ぐべきものは、その学位請求論文「乾隆朝の文字の獄」である。これは第一部総説篇と第二部史料篇とに分かれている。総説篇ではこれまで文化の保護奨励に最も熱心な君主の代表の一人と言われて来た乾隆帝が、実は最も忌むべき検閲制度の勵行者であり、史書の改竄者であり、記録湮滅の実行者であり、文学の圧迫者であった事実を明かにし、これまでの評価が全く誤っていることを述べ、史料篇ではこれを裏づける史料を英訳し、これに詳しい注釈を施して、その根拠を示したものである。滿

州語文学の如き、乾隆帝が支那語の小説の満語翻訳を風教に害ありとして嚴禁したことから、發達を阻止せられ、遂に廃絶に至ったものであり、支那文の書籍や記録も、記事の削除や書物の廃棄の勵行によって、多くの重要な部分が失われてしまったのである。支那にはキリスト旧教におけるが如き禁書目録(Index)はないというのが一部欧人学者の説くところであったが、氏は鎮燬抽燬書目の若干を挙げたもの何倍か出版されており、長澤規矩也博士の「支那書籍解題 書目書誌之部」の第一二部禁燬目の項下にその大部分が網羅されている。グッドリッチ氏の書はこの点増補を必要とするものであるが、長澤博士の目録には脱れている陳乃乾編の「索引式的禁書總録」(一九三二年、上海刊)を挙げ(二三三頁 No. 2)、長澤目録を補っていると云うもある。この論文は一九三五年刊行され、一九六六年複印された。しかし複印に当って増訂は施されなかったようである。

氏の業績の第二として特筆すべきものは「明代名人伝」二冊(一九七六)である。「清代名人伝略」二冊(一九四三年刊)に続き、その体例に倣って編纂された本書は、氏を主編者、房兆楹氏を副編者として編纂されたもので、主編者・副編者を含む一二五人が寄稿している。これにジュリ

アン賞が与えられたことは、前に一言したが、「清代名人伝略」に比べると、明代に活躍した外国人が網羅されている点の一つの特色である。氏は一項目の原稿を入手すると、直ちにこれを複写して多くの関係学者に配布し、その補訂を求めた。

氏の業績の第三として挙ぐべきものは、カーターの「支那における印刷術の起源並びにその西伝考」(一九二五年初版、一九三一年再版)の補訂版(一九五五)の編集である。補訂版の序文の中でその補訂が如何にペリオ(Paul Pelliot, 1878—1945)に負うところ多いかを繰述している。これは或いはロベール・デ・ロトゥール(Robert des Rotours)がペリオの遺稿として編刊したカーターの初版本の批評(但し未完)を指しているのかも知れない。しかしグッドリッチ氏はペリオがカーターの書に毎頁補訂を施して、それから非常な教を受けたように記しているが、ペリオの右の遺稿は、編者のつけた題名のとおり、支那における印刷術の起源に関するいくつかの所伝について記したもので、グッドリッチ氏の言うところ⁴⁾に合致しない。ペリオは、一九二六年カーターの追悼録を書き、その中でカーターの書が新版を出す際にはそれを *up-to-date* にすることを約束したと記し、一九二七—二八年、コレージュ・ドゥ・フランスで支那における印刷術の起源について講義

し、カーターの著書をテキストとして使用している。⁽⁵⁾グッドリッチ氏は或いはペリオの書入れのあるカーターの初版本を手にしたのであるまいか。

グッドリッチはペリオ氏を支那学界の第一人者として尊崇して已まなかった人である。そのことは「乾隆朝の文字の獄」の序文にも明記されている。カーターの書の補訂に當ってペリオの手訂本を検討したことも十分考えられる。

これと併せて想い出されるのは、永樂帝の許に派遣せられたティームールの子シアー・ルフの使者ハー・フィズ・アブルー (Hafiz Abru) の紀行の英語の抄訳を苦心入手して複製していることが示すように(著述目録第六八番)、稀覯の資料を流布することに頗る熱心であったことである。

氏が陳垣の「元西域人華化考」を愛読し、英訳するとすればまづこれと錢星海氏の協力を得て、その訳注を刊行したのも(著作目録第六二番)、同じような考え方の表れであろう。陳垣氏のこの書は華化した西方人のすべてを網羅してはいるものではないので、今日から見れば若干の追補を必要とするが、グッドリッチ氏等はそれには及んでいない。それはいづれにしても、氏等の訳注によってこの名著の利用が一層容易になった。因みに、陳垣は「乾隆文字の獄」の研究に當って北京でグッドリッチ氏に助言を与えた人の一人である。「元西域人華化考」の訳注は氏の代表的業績の

第四として挙げらるべきものである。

(四)

氏に「支那民族小史」(A Short History of the Chinese People)(著述目録第二四番)がある。三百頁に満たない小冊子であるが、一九四三年に初版、一九五一年・一九五七年に改訂第二版、一九五九年に改訂第三版が世に送られ、ライシアワー・フェアバンク氏共著の「東アジア史」にラトウレットの「支那人—その歴史と文化」と併せ掲げられ、ラトウレットのより簡単であるが、場合によってはそれより詳細であると推薦されている名著である。この初版の序文の中に我々(欧米人)が支那人の歴史を学ぶべき理由をいくつか挙げてはいるが、その一つとして次の如く述べている。

支那人は我々とは違う。同時に彼等はインド人・安南人或いは日本人よりは遙かに我々に似ている。前回の戦争(第一次世界大戦)の終わりに、筆者は暫くフランスで米国軍に附属した支那人の労働部隊(a Chinese labor battalion)と共に勤務したことがある。この労働部隊を指揮していた米国の下士官等は、屢々言葉や慣習の相違があるにも拘らず、彼等自身と支那人とが余りにも似ているの不思議に思った。下士官等は記

録を検討して支那人等が旧石器時代から現代まで時の廊下をどのようにして旅して来たのかを知りたがった。(一九五二年版に採録されている第一版序文二三頁)

米国人と支那人とのどこがどう似ているのかグッドリッチ氏は説明していない。しかし私は米国人と支那人とが似ているというのは、米国の下士官よりも氏自身が感じていたことなのではないかと思う。そしてそれは氏自身が北京附近で生まれ、そこで育ち、幼い時から支那語を操り、支那人の考え方や行動が何の無理もなく氏の理解の中に融けこんで来た結果ではあるまいかと考える。

氏は、前述の如く、ペリオの大崇拜者であった。その論考のどれをも熱心に読んでいたに相違ない。「乾隆時代の文字の獄」を始とする氏の論考には頻りにペリオが引かれて⁽⁸⁾いる。嘗てフランスのアルノア (J. Boulnois) 女史が「絹の道」を著し、そのカヴァア (dust cover) にパリの国立東洋語学校の卒業生で、ロシア語と支那語との修了証 (diplomas) とをもっていると記したことに對し、グッドリッチ氏はこれを疑問視し、ペリオはソルボンヌにおける中央アジア諸国語と歴史との教授で、本書に触れられている題目の多くについて夥しい論文を発表しているが、本書では僅かに脚注の一つに一寸触れているだけで、ペリオの論文

も著書も一つとして「巻末の」書目の中に引かれていないとし、取敢えず二十個所に互る誤記を指摘している。ペリオを尊崇する氏にしてみれば、ペリオの論考をも碌に読んでいない者が、パリの東洋語学校の卒業生だなどと称することに我慢が出来なかつたのであろう。

氏の支那研究の特色はその興味の博いことにある。茶・煙草・木綿・落花生・甘薯等の農産物から射石砲・火器(大砲を含む)、橋梁・本棚、紙・印刷術、天文学・数学、算盤、音楽、魚の化石、ポロ競技、大藏経・明実録・永樂大典等の典籍に至るまで、支那のあらゆる事物特に自然科学関係の事物に興味を示し、これらに関する多くの短かい論文を発表している。

一九五四年、ニーダム氏の「支那における科学と文明」の第一巻が刊行せられた時、氏はこの書を支那の、アジアの、そして世界の歴史に関心をもちあらゆる人々の必読の書であるとし、「そこに扱われている事柄の多くは私のよく知っているものであるが、著者は繰返し繰返しそれらについて考え直し、古い事物の新しい側面を明かにすることによつて、全く新しい科学的事実を発見している」と賞揚し、夢溪筆談や管子の再検討による結果をその例に挙げている。そして本書は序論であるから、いづれ今後訂正せられるであろうかと前置しながら二十に近い項目について補訂

を行っている。中でも欧州及び地中海域における紀元前一〇〇〇年から紀元一七〇〇年までの鑿空奔馬 (Hing gallop) 像の分布について十例を挙げて、それをレイナツク (Reinach)・ロストフツエフ (Rostovtzev)・エジアトン (Edgerton) の支那起源説に従うニードム氏を反駁しているのは如何にも博學なグッドリッチ氏らしくて興味が深い。

こうした短篇やノートを読んでみると、善富草堂筆記と名づけてもよさそうな一冊の隨筆集が出来そうな気がするし、そうした興味の示し方が氏の支那人的氣質と無縁ではないような感じを受ける。しかしそれは読む人の知識或いは理解力の浅薄さを曝露しているのに他ならないことに間もなく気付くであらう。

氏はその「支那民族小史」に先立って「支那文明文化史必讀書目」(A Syllabus of the History of Chinese Civilization and Culture, 著作目録第六番)を出している。その初版の刊行年は知らないが、第二版を一九三四年に、第三(?)版を一九四七年に、第六版を一九五八年に出している。第六版は前に引いたライシアワー・フェアバンク氏の「東アジア史」にも推薦されている名著であるが、これはグッドリッチ氏が机上で編纂した書目ではない。それが何版まで出ているのか明かにしないが、何回かの改訂版の

刊行が示すように、氏はそこに列記せられた論著のすべてに眼を通してするのである。多方面の支那の事物に関する氏の短篇は、それまでの学界の知見に加えるべき必要があると考えて書かれたものである。それは決して多くは先人の書からの書抜きにすぎない支那の知識人の隨筆に比べらるべきものでもなければ、ディレクタンテイズムに発した無用の閑文字と看做すべきものでもない。それらの短篇の背後には正確で詳細なそれぞれの研究史の理解の積みかさねがあることを知らなければならぬ。氏の短篇はその意味で学者としての氏の本領を最もよく發揮しているものと言うべきであらう。

氏は支那の古器物と書物の優れた蒐集家でもあったようである。氏は北京留學中新石器時代の古墳を發掘して多くの陶片を採集したが、氏はそれを含む各種の古器物と絵入りの満州実録一部とをロンドンピア大学のC.V. Staar East Asian Libraryに寄贈している。

「乾隆朝の文字の獄」の著者、「明代名人伝」の編著者としての氏は、何となく支那近代史の專家のように思われがちであるが、マックネア氏編「支那」の古代殷代までの記述(著作目録第二九番)と「大英百科辞典」第一五版(一九七四年)支那の項の歴史の部の「支那文明の始まり」(Beginning of the Chinese Civilization, pp. 301—303) (著

作目録第七三番)とは氏の執筆するところで、後者のそれ以後、中華人民共和国の文化革命までは氏以外の十一人の筆者が分担している。一見奇異に思う人があるかも知れないが、この時期の発掘成果に最もよく通じていたのが氏であることを考えれば、氏がこの項を担当したことは誠に人選その宜しき得たと言うべきである。先史時代の支那に関する氏の造詣は「支那と支那以外のアジアの諸地域との最古の交渉」(著作目録第五三番)にも遺憾なく発揮されている。

支那史の全部、少くとも全部に関する研究の成果に精通していた人として、氏は正に米國を代表する支那史研究家と評してよいであろう。

氏はコロンビア大学の Dean Lung Professor であり、退職後は Dean Lung Professor Emeritus であった。この教授職は一九〇二年カーペンティア (General Horace Walpole Carpenter) がコロンビア大学に二〇万弗を寄贈して設けたもので、Dean Lung はこの人が使っていた支那人の召使の名である。カーペンティアはこの召使の忠誠に感じ、この召使の代表する支那の学問的研究を進めるためにこの講座を寄附したのであるが、Dean Lung 自身もその生涯の貯蓄一萬二千弗をこれに加えたといふ。この講座の初代の教授はヒルト (Friedrich Hirth, 1845—1927) べ

一九〇二年から一九一七年までその職に在った。グッドリッチ氏は一九四八年にこの教授職に就き、一九六一年名誉教授となった。氏を継いだのは一九八五年この教授職に就いたビーレンスタイン (Hans Bielenstein) 氏である。氏が後漢代の研究家であることはよく知られているであろう。

キリスト教会関係についてもいろいろと功績があつたようであるが、それは省略する。氏は一九四六年 American Oriental Society の会長 (President) 一九五六年 Association for Asian Studies の会長となった。一九八六年八月一〇日、氏が逝去すると、その知友門下は氏の功績を記念して一〇万弗を醸金し、「グッドリッチ奨学基金」(Garrington Goodrich Fellowship Fund) を設けた。

註

- (1) Arthur H. Smith, *China in Communion*. Edinburgh and London, 1901, Vol. 1, Edinburgh: Oliphant, Anderson and Ferrier, 1901, p. 480; Mary Hooker (Polly Condit Smith), *Behind the Scenes in Peking. Being Experiences during the Siege of the Legations*. London: John Murray, 1910, See Index under Morrison, Dr., Times' Correspondant.

- (2) 「支那書籍解題 書目書誌之部」(東京、文求堂書店、一九四〇年、三三二—三三八頁)(長澤規矩也著作集、第九卷、二七二—二七四頁)。
- (3) *Les débuts de l'imprimerie en Chine*. (Oeuvres posthumes de Paul Pelliot, IV). Paris: Imprimerie nationale et Librairie d'Amérique et d'Orient, 1953, 16. 5×23cm, viii+138+(1) pp. これはデローロツールやドミニエール(Paul Demiéville)の注記及び附記が加えられている。ローシュエドフランソワでの講義であったこととそれが生前遂に未刊に終わった次第については、デローロツールの序文参照。ペリオには六種の遺稿が刊行されているが、そうした遺稿が出来た理由は、デローロツールによるとローシュエドフランソワでは毎年新しい講義をすることを義務づけられているので、一年が終ると直ちに次年度の講義の準備をするために、前年度の講義を纏める時間がなく、将来の補訂を期して未完のままにしておかれたことにあると云う。
- (4) *T'oung Pao*, XXIV, 1926, pp. 303—304.
- (5) (3)に挙げた書の編者序文を見よ。
- (9) Edwin O. Reishauer and John K. Fairbank, *East Asia. The Great Tradition*. Boston: Houghton Mifflin Company, 1958 and 1960, p. 680.

- (7) Kenneth Scott Latourette, *The Chinese: Their History and Culture*. New York: Macmillan, 2 vols., 3rd ed., revised, 1946. 但し1946と1964の誤植。本書の3rd ed., revisedは1964年刊、1946年刊は2nd ed., revisedと見らるべき。
- (8) Luce Bouhnois, *La route de la soie*. 317pp., Paris: B. Arthaud, 1963, avec cartes et illustrations. 独訳(一九六四)・英訳(一九六六)・日訳(一九八〇年、河出書房新社)あり。

- (9) (8)に対するグッドリッチ氏の批評は *Journal of Asian Studies*, XXVI, 2, February 1967, pp. 285—286 に出されている。これは5つは、東洋学報第六二巻(一九八〇年)の、一五九—一六二頁を参照せよ。
- (10) *Journal of the American Oriental Society*, LXXIV, 1954, pp. 275—278.

著作目録

Abbreviations:

- BSOAS Bulletin of the School of Oriental and African Studies
 CJ China Journal

- CSPSR Chinese Social and Political Science Review (1) American Catholic Missions in China. In: CSPSR
- FEQ Far Eastern Quarterly 11, pp. 414-431, 1927; 12, pp. 59-73, 1928.
- GR Geographical Review (2) A Decade of American Roman Catholic Mission in China. In: *JRM* 18, pp. 97-101, 1929.
- HJAS Harvard Journal of Asiatic Studies (3) Chinese Studies in the United States. In: CSPSR
- ICO International Congress of Orientalists 15, pp. 62-42, 1931.
- IRM International Review of Missions (4) On Certain Imperfections in the Ssu-k'u ch'üan-shu. In: *CJ* 203, pp. 124-129, 1934.
- JAOS Journal of the American Oriental Society (5) China's Greatest Book. (The Ssu K'u Ch'üan-shu). In: *Pacific Affairs* 71, pp. 62-70, 1934.
- JAS Journal of Asian Studies (6) A Syllabus of the History of Chinese Civilization and Culture. 1st ed.: 2nd ed., New York, 1934; 3rd ed., New York: China Society of America, revised ed., 1947, 55 pp.: 4th ed., New York: The China Society of America, 1950; 6th ed., 1958.
- JHKBRAS Journal of the Hong Kong Branch of the Royal Asiatic Society (7) The Literary Inquisition of Ch'ien-Lung. (American Council of Learned Societies, Studies in Chinese and Related Civilizations, Nr. 1). Baltimore: Wavery Press, Inc., 1935, xii+275 pp. (Submitted in Partial fulfillment of the Requirements for the Doctor of Philosophy, University of
- JNCBRAS Journal of the North China Branch of the Royal Asiatic Society
- MNANS Museum Notes of the American Numismatic Society
- MS Monumenta Serica
- THM T'ien-hsia Monthly
- TKBRAS Transactions of the Korea Branch of the Royal Asiatic Society
- TP T'oung Pao
- VBQ Visva-bharati Quarterly

- Columbia.) Reprint: New York: Paragon Book Reprint Corporation, 1966, xxvi+275 pp.
- (8) Cinchona in China. In: *CJ* 27, pp. 36-37, 1937.
- (9) The Introduction of the Sweet Potato into China. In: *CJ* 27, pp. 206-208, 1937.
- (10) Early Notices of the Peanut in China. In: *MS* 2, pp. 406-409, 1937.
- (11) Korean Inference with Chinese Historical Records. In: *JNCBRAS* 68, pp. 27-34, 1937.
- (12) The Ninety-nine Ways of Destroying the Manchus. In: *THM* 6, pp. 418-424, 1938.
- (13) China's First Knowledge of the America's. In: *GR* 28, pp. 400-411, 1938.
- (14) Early Prohibitions of Tobacco in China and Manchuria. In: *JAOS* 58, pp. 648-657, 1938.
- (15) A Bibliography of Eastern Asiatic Botany, by E. D. Merrill and E. H. Walker (Additions). In: *JAOS* 59, pp. 138-142, 1939.
- (16) Some Bibliographical Notes on Eastern Asiatic Botany. In: *JAOS* 60, pp. 258-259, 1940.
- (17) A Note on the Ta Ming Shi Lu. In: *TP* 36, pp. 81-84, 1940.
- (18) Sino-Korean Relations at the End of the XIVth Century. In: *TKBRAS* 30, pp. 33-45, 1940.
- (19) Early Mentions of Fossil Fishes. In: *Jsis* 34, p. 25, 1942.
- (20) Cotton in China. In: *Jsis* 34, pp. 408-410, 1942.
- (21) A Note on the Ta Ming Shi Lu. In: *TP* 36, pp. 81-84, 1942.
- (22) The Revolving Bookcase in China. In: *HJAS* 7, pp. 130-161, 1942.
- (23) Additional Notes on Tea. (In collaboration with C. M. Wilbur). In: *JAOS* 62, pp. 195-197, 1942.
- (24) A Short History of the Chinese People. Prehistoric Period to 1950. New York: Harper, 1943, xv+260 pp, with 17 maps in the text and 25 illustr. (1st ed.): *Ibid.*, New York: Harper & Bros., 1951, vii+288 pp, with 17 maps in the text and 25 illustr.: *Ibid.*, (2nd & Revised ed.), London: G. Allen & Unwin, xviii+288 pp, 1957: *Ibid.*, (3rd revised ed.) London: G. Allen & Unwin, 1959.
- (25) The Ming Shih-lu. (In collaboration with Han Shou-hstuan). In: *FEO* 3, pp. 37-40, 1943.
- (26) A Pocket Dictionary. (Chinese English and Pekin-

- gese Syllabary). New York, 1944, 308 pp.
- (27) History of China. A Self-teaching Course, based on "A Short History of the Chinese People". New York: Harper and Brother, 1944.
- (28) Note on a Few Early Chinese Bombarads. In: *Isis* 35, p. 211, 1944.
- (29) Antiquity: to the Fall of Shang. In: *China*, ed. by Harley Farnworth MacNair, Berkeley & Los Angeles: California University Press, pp. 41-53, 1946.
- (30) The Early Development of Firearms in China. (In collaboration with Feng Chia-sheng.) In: *Isis* 36, pp. 114-123, 250-251, 1946.
- (31) The Cultural Opportunity in China. In: *JAOS* 67, pp. 75-80, 1947.
- (32) Measurements of the Circle in Ancient China. In: *Isis* 39, pp. 64-65, 1948.
- (33) Fire-arnes among the Chinese. A Supplementary Note. In: *Isis* 39, pp. 63-64, 1948.
- (34) The Abacus in China. In: *Isis* 39, p. 239, 1948.
- (35) Maternal Influence. In: *HJAS* 12, pp. 226-230, 1949.
- (36) Foreign Music at the Court of Sui Wen-ti (581-604 A.D.). (In collaboration with Ch'ü T'ung-tsu.) In: *JAOS* 69, pp. 148-149, 1949.
- (37) Trade Routes to China from Ancient Times to the Age of European Expansion. In: *Highway in Our National Life*, 1950.
- (38) A Bronze Block for the Printing of Chinese Paper Currency (*ca.* 1287). In: *MNANNS* 4, p. 127, 1950.
- (39) Paper: A Note on its Origin. In: *Isis* 42, p. 145, 1951.
- (40) In Memoriam: Roswell Sessoms Britton (died Feb. 2, 1951). In: *Arribas Asiae* 14, pp. 190-191, 1951.
- (41) Japan in the Chinese Dynastic Histories. Later Han through Ming Dynasties. Translated by Ryusaku Tsunoda, edited by L. Carrington Goodrich. (Perkins Asiatic Monographs, No. 1). South Pasadena, 1951, vii+187 pp.
- (42) A Note on Professor Duyvendak's Lectures on China's Discovery of Africa. In: *BSOAS* 14, pp. 384-387, 1952.
- (43) Query on the Connection between the Nautical

- (44) Earliest Printed Edition of the Tripiṭaka. In: *VBQ* 19, pp. 215-220, 1953.
- (45) Introduction to Chinese History and Scientific Developments in China. (Sino-Indian Pamphlets, No. 21). Santiniketan: Sino-Indian Cultural Society, 1954.
- (46) Professor J. J. L. Duyvendak. An Appreciation. In: *FEQ* 14, pp. 297-298, 1955.
- (47) Thomas Francis Carter, The Invention of Printing and its Spread Westward, 1931, 2nd edition, revised by Carrington Goodrich. New York: The Ronald Press, 1955. xxiv + 293 pp., 25 pl.,
- (48) Geographical Additions of the XIV and XV Centuries. A Bibliographical Note. In: *MS* 15, pp. 203-212, 1956.
- (49) Recent Discoveries at Zeiton: Additional Note. In: *JASO* 77, pp. 161-165; 78, p. 118, 1957-1958.
- (50) Archaeology in China: the First Decades. In: *JAS* 17, pp. 1-15, 1957.
- (51) Suspension Bridge in China. A Preliminary Inquiry. In: *Sino Indian Studies*, 5 (Liebenthal Festschrift), pp. 53-61, May 1957.
- (52) Westners and Central Asians in Yuan China. In: *Oriente Poliano*, pp. 1-21. Roma: Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente, 1957.
- (53) China's Earliest Contacts with Other Parts of Asia. (The G. E. Morrison Lecture in Ethnology, 23. 1 August 1961). Canberra: Australian National University, 1962. 12 pp.,
- (54) The Origin of Printing. In: *JAS* 82, pp. 556-557, 1962.
- (55) Western Regions Writers of Chinese Lyrics during the Yuan. In: *ICO* 7, pp. 17-21, 1962.
- (56) The Development of Printing in China and its Effects on the Renaissance under the Sung Dynasty, 960-1270. In: *JHKBRAS* 3, pp. 36-44, 1963.
- (57) Early Cannon in China. In: *Isis* 55, pp. 193-195, 1964.
- (58) On Certain Books suppressed by Order of Chienlung during the Years 1772-1788. In: *ICO* 5, pp. 71-77, 1964.

- (59) The Chinese Hand-warmer. In: Symposium in Honor of Dr. Li Chi on his Seventeenth Birthday, Pt. (慶祝李濟先生七十歲論文集上冊), pp. 93-96, 台北: 清華學報社, 1965.
- (60) Recent Developments in Chinese Studies. In: *JAOS* 85, pp. 117-121, 1965.
- (61) On Loan Words. In: *JHKBRAS* 6, pp. 159-160, 1966.
- (62) Ch'en Yüan [陳垣], Western and Central Asians in China under the Mongols, Their Transformation into Chinese. (元西域人華化考). Translated and Annotated by Ch'ien Hsing-hai 錢星海 & L. Carrington Goodrich. Los Angeles: The Monumenta Serica, 1966, iv+328 pp. (Monumenta Serica Monographs, 15)
- (63) Printing. A New Discovery. In: *JHKBRAS* 7, pp. 39-41, 1967.
- (64) A Cannon from the End of the Ming Period. (In collaboration with Lo Hsian-lin.) In: *JHKBRAS* 7, pp. 152-157.
- (65) Ch'en Ch'eng [陳誠]. In: Special Issue of the Bulletin of the National Central Library (慶祝蔣
- (66) 應堂先生七十榮慶論文集. [中華民國國立中央圖書館特刊], pp. 426-420, 台北: 學生書局, 1968年11月
- (67) 15th Century Illustrated Chinese Primer, Hsin-pien tui-hsiang szu-yen. 15th Century Illustrated Chinese Primer. Facsimile reproduction with introduction and notes by L. Carrington Goodrich. Hong Kong: University Press, 1967, viii+8 pp.
- (68) The Comet of 1532. In: *JHKBRAS* 9, pp. 150-151, 1969.
- (69) Hafiz Abrq, A Persian Embassy to China. Being an Extract from Zubdatut Tawarikh of Hafiz Abrq. Translated by K. M. Maitra. With a New Introduction by L. Carrington Goodrich. New York, 1970. iv+123 pp. (Reprint).
- (70) Homer Dubs, 1892-1969. In: *JAS* 29, pp. 889-891, 1970.
- (71) More on the Yung-lo T'a-tien. In: *JHKBRAS* 10, pp. 17-23, 1971.
- (72) Boym and the Boymie. In: *TP* 57, p. 135, 1971.
- (73) Polo. A Note. In: *TP* 61, pp. 301-302, 1975.
- (74) Beginning of the Chinese Civilization. In: *Ency-*

- clopaedia Britannica, 15th ed., Vol. 4, pp. 301-303, 1974.
- (74) Arthur William Hummel, March 6, 1884—March 10, 1975. In: *JAOS* 95, pp. 579-580, 1975.
- (75) Dictionary of Ming Biography, 1368-1644. Edited by L. Carrington Goodrich in collaboration with Chaoyin Fang [房兆麟]. 2 Vols. New York: Columbia University Press, 1976, xxviii+1022 pp.; xii+729 pp.
- (76) China Food over the Millennia. In: *JAOS* 99, pp. 87-90, 1979.
- 雜 誌
- (1) Rev. of Audemard, L., *Les jonques chinoises*, I. Histoire de la jonque. Rotterdam, 1957, 97 pp., 36 pls. In: *JAOS* 79, p. 207, 1959.
- (2) Rev. of Audemard, L., *Les Jonques chinoises*, IX, Côtes est. Rotterdam: Museum voor Land-en Volkenkunde. Het Maritiem Museum 'Prins Hendrik', 1970, 99 pp., 99 pl. In: *JAOS* 92, pp. 562-563, 1972.
- (3) Rev. of Boulnois, Luce, *The Silk Road*. N.Y.: E. P. Dutton, 1966, 250 pp. In: *JAS* 26, pp. 285-286, 1967.
- (4) Rev. of Chen, Theodore Hsi-en and Chen, Wen-hui Chung, *Elementary Chinese Reader and Grammar*. South Pasadena: P. D. & Ione Perkins, 1945, ix+209 pp. In: *FEQ* 5, pp. 336-337 1946.
- (5) Rev. of Chao, Yuen-ren, *Mandarin Primer; an Intensive Course in Spoken Chinese*. Cambridge: Harvard Univ. Press. London: Geoffrey Cumberlege, 1948, 477 pp. In: *FEQ* pp. 406-407, 1950.
- (6) Rev. of Chao Yuen-ren, *Character Text for Mandarin Primer*. Cambridge: Harvard Univ. Press; London: Geoffrey Cumberlege, 1948, 142 pp. In: *FEQ* 9, pp. 406-407 1950.
- (7) Rev. of Creel, H. G., *Chang Tsung-ch'ien and Rudolph, Richard C.* (ed. & prepared by), *Literary Chinese by the Inductive Method*, Vol. I: *The Hsiao Ching*. Chicago: The Univ. Press; London: Cambridge Univ. Press, 1948 (rev. & enl. ed.) xv+213 pp., 16s. 6d. In: *FEQ* 9, pp. 406-407 1950.
- (8) Rev. of Dow, Francis, D. M., *A study of Chiang-su and Che-chiang gazetteers of the Ming dynasty*.

- Camberra: Australian National Univ., 1969, 137 pp. In: *JAS* 29, pp. 918-919, 1970.
- (9) Rev. of Duyvendak J. J. L., *China's Discovery of Africa*. London: Probsthain, 1949, 35 pp., 1 fold. facsim. of the Inscription of Ch'ang-lo (Lectures given at the Univ. of London on January 22 and 23, 1947). In: *Arribus Asiae*, 13, pp. 113-114 1950.
- (10) Rev. of Forrest, R. A. D., *The Chinese Language*. London: Faber & Faber, 1948, 352 pp., maps. 35s. (The Great Language Series). In: *FEQ* 9, pp. 406-407 1950.
- (11) Rev. of Huard, P. & M. Wong, *Evolution de la matière médicale chinoise*. Leiden: E. J. Brill, 1958, 67 pp. In: *JAOS* 79, pp. 155-156, 1959.
- (12) Rev. of Hung, William, *Tu Fu, China's Greatest Poet*. Cambridge: Harvard Univ. Press, 1952, x + 300 pp. & Notes 133 pp. In: *FEQ* 12, pp. 214-217, 1953.
- (13) Rev. of Kates, George N., *The Years that were fat*. The last of old China. Cambridge: M.I.T. Press, 1967, ix + 268 pp. In: *JAS* 27, pp. 383-384, 1968.
- (14) Rev. of Liu, Ts'un-yan, *Selected Papers from the Hall of Harmonious Wind*. Leiden: E. J. Brill, 1976, ix + 452 pp. In: *JAS* 39, pp. 156-157, 1979.
- (15) Rev. of Liu, Wu-chi, *Confucius: his Life and Time*. N.Y.: Philosophical Library, 1955, xv + 189 pp. In: *Arribus Asiae* 20, p. 196, 1957.
- (16) Rev. of Needham, Joseph, *Science and Civilization in China, Vol. I: Introductory Orientations*. N.Y.: Cambridge Univ. Press, 1954, xxxviii + 318 pp., ills. 9 tables. In: *JAOS* 74, pp. 275-278, 1954, *Isis* 46, pp. 302-304 1955.
- (17) Rev. of Needham, Joseph, *Science and civilization in China, Vol. 4, Physics and physical technology, Pt. I: Physics*. Cambridge: at the Univ. Press, 1962, xxxiv + 434 pp. In: *JAOS* 82, pp. 455-458, 1962.
- (18) Rev. of Needham, Joseph, *The Development of Iron and Steel Technology in China*. London: The Newcomen Society, 1958, xii + 76 pp. In: *Isis* 51, pp. 108-109, 1960.
- (19) Rev. of Pelliot, Paul, *Notes on Marco Polo, I. Ouvrage posthume*, Paris: Imprimerie Nationale,

- Librairie Adrien-Maisonneuve, 1959, xii+611 pp.
In: *JAOS* 81, pp. 442-444, 1961.
- (20) Rev. of Shi Nai'an / Luo Guanzhong (au.), Sidney Shapiro (tr.), *Outlaws of the Marsh*, Bloomington: Indiana Univ. Press, 1981, 1605 pp. In: *Pacific Affairs* 55, pp. 113-115, 1982.
- (21) Rev. of E-tu Zen Sun & Shiou-chuan Sun (tr. & annot.), *T'ien-kung k'ai-wu*, Chinese Technology in the Seventeenth by Sung Ying-hsing. Pennsylvania: Pennsylvania State Univ. Press, 1966, xix+372 pp. In: *JAOS* 87, pp. 80-82, 1967.
- (22) Rev. of Verhaeren, H., *Catalogue of the Pei-t'ang Library*. French Section: 1944, vii, pp. cols 1-194, Latin Section: 1947, cols 197-198, Various Languages: 1948, cols. 921-1206, Introduction and Indices, 1949, xxxiii, pp. cols. 1209-1334. Peking: Lazarist Mission Press. In: *FEQ* 10, pp. 208-210 1951.
- (23) Rev. of Wang Yu-chuan, *Iron Farm Tools in Ancient China*. (China Reconstructs.: Feb.), pp. 10-11. In: *Arribus Asiae* 20, p. 196, 1957.
- (24) Rev. of White, Lynn, *Medieval Technology and Social Change*. Oxford: Clarendon Press, 1962, xii+194 pp. In: *JAOS* 83, pp. 384-385, 1963.
- (25) Rev. of Yetts, W. Percival, 'West' and 'East' and the Chou Dynasty. London: China Soc., 1958. (China Soc., Occasional Paper, 11), 16 pp. In: *Arribus Asiae* 21, p. 288, 1958.